

役員懇談会 開催報告

令和7年2月27日、JISAでは、JISA役員間のコミュニケーションを図るため、JJK会館にて、生成AIに関する提言とアクションプランをテーマに役員懇談会を開催した。参加者は34名（うち、役員22名）。



JISA 福永哲弥 会長

開会にあたり、福永哲弥会長が「本年度は生成AIの社会的促進についてJISAとして提言をまとめることができた。国際競争力向上のため、生成AIの社会的活用が必須であり、そのためにJISAやJISA会員は何をすべきかアクションプランをまとめ、発信していく。今、まさにJISAの事業運営方針や次年度事業計画を立案中であり、今後、JISAで何をすべきか、JISA全体の視座で意見交換をしたい。JISAは経営者が本音で話ができる環境。是非、人的ネットワークを強化して欲しい。」と挨拶を行った。

また、政策提言委員会の藪田健二委員長が「生成AIアクションプランの作成に向け、2つのWGを設置し、人材育成、人材力の強化を焦点に精力的に話し合いを重ねてきた。本日はご紹介するアクションプランを0.9版としているのは、皆様のご意見をプラスして、1.0版として出したいという思いから。本日は忌憚のないご意見をいただきたい。」と挨拶し、続いて、政策提言委員会 内部連携部会・生成AIアクションプランWG座長の富川直毅氏が同部会で作成中の生成AIに関するアクションプランのポイントを紹介した。



JISA 藪田健二 副会長

その後の意見交換は、富川氏と松田信之氏（人材委員長、政策提言委員会 内部連携部会・生成AIアクションプランWG副座長）のファシリテーションのもと、アクションプランWGの2つのグループリーダーである嶋田基史氏（SCSK(株) 技術戦略本部 本部長付）、水野哲博氏（(株)構造計画研究所 シニアアドバイザー）を交え、次の3つの論点を中心に行われた。

- ✓ 大手企業会員の立場で各施策について気になる点やアイデアはあるか？
- ✓ 中小会員企業の立場で各施策について気になる点やアイデアはあるか？
- ✓ 外部※へJISAとして、あるいは個社として働きかける施策についてどう考えるか？（※特にユーザー企業やユーザー団体）

<意見一例>

- ・ JISA の育成プログラムに参加した社員に点数を付与するなどして、客観的にレベルアップしたことがわかるようにすると、やる気に繋がると思う。
- ・ 先を見据えた人材育成をしていかないと間に合わないと思うので、JISA としてスピード感を持って方向性を示して欲しい。
- ・ 教師データを共有する仕組みが必要。人材育成だけではなく、もう一步踏み込んだアクションプランを進めていかないと取り残される危険性がある。
- ・ 学習データのノウハウ、著作権がどこに帰属するのかを明確にした方が良い。



意見交換会

意見交換終了後、懇親会を開催した。冒頭、長坂正彦副会長が開会挨拶に立ち、「生成 AI は非常に重要なテーマ。全体の底上げが必要であり、既存の分野の構造改革に日常的に生成 AI を活用して、その成果を共有するなど、積極的に自分事として行動していこう」と述べた。



JISA 副会長
長坂正彦氏



(株)構造計画研究所
シニアアドバイザー
水野哲博氏



懇親会

懇親会は終始和やかな雰囲気が進み、最後は、水野哲博理事から「生成 AI は様々な競争の上で成り立っていくソリューション。今後は他の業界との競争も発生する。今後もアクションプランの取りまとめや実践にご協力をお願いしたい。」とご挨拶があり、一本締めにて閉会した。

(役員懇談会事務局)